

10年後の同窓会

苫小牧市立啓明中学校 近藤芦羽 3年

先生、天国から見守ってくれていますか？僕が先生と約束した夢は、叶いましたか？僕が、小学校五・六年生の担任の先生は、いつも元気で優しく先生がいるだけで太陽のように明るく華やかになっていました。子ども達の事を自分の事のように考え、全力で応援をしてくれたり、心配をしてくれる僕にとって憧れの存在でした。小さい頃から教師になる夢も先生は応援してくれていました。それなのに…。中学校三年生の春、突然の訃報が入ったのです。僕は、何かの間違いだ、悪い冗談であってほしいと先生の死を受け入れる事ができなかった。二ヶ月前に先生から手紙が届きいつもの優しさあふれる内容で僕の体の心配や勉強の事など書かれていた。僕は修学旅行のお土産と手紙の返事を送ろうと思っていたので返事をまだだしていなかった事がとても心残りとなった。お葬式は会場内に入りきれないほど人であふれ、先生がいかに沢山の人から愛される偉大な教師だったのだと感じました。先生との別れは本当に辛いです。

六年生の卒業式前に、先生とクラス全員でタイムカプセルを作りました。それは先生が大切に保管し、十年後に同窓会をしそこで開封する約束でした。それが㊦㊧㊨㊩年です。先生にもしもの事があっても旦那や子どもに託すからと話していた先生。先生を囲んで焼肉をしながらお酒を飲み昔話を楽しみにしていたのに…。今まで小・中学校と同じ道を歩んできた友人達ともあと数ヶ月で高校生となり別々の道へ進みます。㊦㊧㊨㊩年、社会人〇年目の人や新社会人もいるでしょう。子どもがいる人もいるかもしれません。クラスみんなの変化の大きな頃に集まる同窓会は天国からも先生が参加してくれる気がします。

先生が大好きだった歌で、クラスでよく歌っていた曲の歌詞に「出来るだけ嘘は無いようにどんな時も優しくあれるように、人が痛みを感じた時には、自分の事のように思えるように」という部分があり、まさに先生そのものだと思っていました。僕もその歌詞をととても共感しているので、そのような人間になり、先生のような教師に近づけるよう、今できることを真剣に取り組み、夢の実現にむけて一つ一つ努力し続けていきたいと思います。僕の部屋には、十年後の同窓会の紙と先生からの手紙や写真が飾ってあります。それを見ると、将来へむけて頑張れるお守りとなっています。㊦㊧㊨㊩年、同窓会を楽しみにしています。先生ずっと天国から見守っていてね。

※歌詞は back number『水平線』より